

横山黄木 よこやま ぐわんぼく 漢詩人、教育家。安政二年十一月十五日上佐國高知城下旭村生れ、昭和十四年九月歿（八五—一九元）。本名又吉。別號黄樹山樵。藩費致道館に學び、上京して陸軍士官學校入學を中退。明治十二年、高知新聞に入社。坂崎紫瀾、植木枝盛等と自由民権の論陣を張る。二十一年保安條例の廢止運動を起し下獄。二十二年新制高知市の學務委員長、二十一年簡易商業學校（のち高知商業學校）を創立して校長となる。豫かね詩文を好み、森春濤・植南父子、清生聚亭に學んだ。

黄木詩集（昭和二十六年七月十五日高知商業高等學校校友会、高知新聞社）刊。

